

Graminex社の花粉エキスG63の女性更年期に対する知見

女性更年期は閉経を迎える時期に始まり、あらゆる不定愁訴を特徴とし、性行為においても障害がおこり、夫婦間に種々のトラブルを巻き起こす。その原因は女性ホルモンの減少が取り沙汰されている。そこで、われわれは花粉エキス G63 がホルモンに影響を及ぼし不定愁訴を改善できるか検討してみた。

【対象・方法】閉経を迎えた女性4人、生理が4～5ヶ月毎にある女性2人の更年期症状が現れている6人の女性の、エストラジオール、DHEAS,の2種類のホルモンと問診表による改善度を検討した。

期間は1ヶ月から2ヶ月間とし、花粉エキスはアメリカのオハイオ州にある Graminex 社が、自社の畑で、農薬を使用せず、遺伝子操作をしていないライ麦、とうもろこしの種を使用して栽培し、その花粉を原料としている。花粉は二重の殻からできており、強い耐酸性と耐熱性(300度でも破壊されない)の為に花粉を食べても消化・吸収ができないが、Graminex 社では特殊な技術を駆使して G60(水溶性栄養成分)と GFX(脂質溶解性成分)を別々に抽出した後、20:1の比率で複合化させ G63 という製品に仕上げ、それを提供してもらった。

1日6錠を朝、夕食後に3錠ずつ服用してもらった。1錠あたり250mgで花粉エキスを62.5mg含有する。(1日量・・・花粉エキスとして375mg)

問診表は独自のものを作成し、点数化して評価した。(点数が少ない方が症状は軽い)

No	症状	ない	少しある	中等度	高度
1	熱感(ほてり、のぼせ)	0	1	2	3
2	手足の冷え、しびれ、むくみ	0	1	2	3
3	発汗	0	1	2	3
4	頻脈	0	1	2	3
5	動悸	0	1	2	3
6	息苦しさ	0	1	2	3
7	頭痛	0	1	2	3
8	頭重感	0	1	2	3
9	不眠	0	1	2	3
10	憂鬱	0	1	2	3
11	イライラ	0	1	2	3
12	不安感	0	1	2	3
13	めまい	0	1	2	3
14	立ちくらみ	0	1	2	3
15	耳鳴り	0	1	2	3
16	肩こり	0	1	2	3
17	手足の関節痛	0	1	2	3

18	腰痛	0	1	2	3
19	しびれ	0	1	2	3
20	蟻がはうような感じ	0	1	2	3

【結果】

Graminex花粉治験・・・女性更年期

氏名	年齢	検査日	エストラジオール	DHEAS	門診票
O.T	48	服用前	10 未満	65	17
		2ヵ月後	10 未満	83	21
Y.T	53	服用前	10 未満	72	13
		1ヵ月後	10 未満	89	6
S.M	54	服用前	14	142	3
		1ヵ月後	10 未満	112	4
F.N	50	H17.6.21	27	106	4
			20	79	2
N.A	63	H17.6.21	10 未満	121	5
			10 未満	123	2
K.H	48	H17.6.22	24	65	15
			10 未満	74	10

【結論】エストラジオールの上昇した人は0であった。DHEASは6人中4人が上昇し、その平均は14.2%であった。不定愁訴が改善した人は6人中4人で54.1%の改善度であった。

【考察】花粉エキスの成分はアミノ酸、ビタミン類、ミネラルであり体内における代謝の促進を助けたために、不定愁訴の改善を見ることができたと思われる。また、20歳代にピークを迎えるDHEASが分泌されたということは若返りの証であり、また、この値は女性の性欲の指標にも使われているもので性欲もアップしたものと思われ、更年期女性の性行為障害を取り除く手助けになる物と推測できる。

【安全性】知見中、特に副作用もなく安心して服用できるサプリメントである。

平成17年8月23日